

## ～ 仙台市壱式参 (いろは) 横丁の事例 ～

### 1.はじめに

壱式参横丁は、仙台駅からほぼ真西へ徒歩 10 分ほどの距離にあり、2 本の路地沿いに飲食店、生鮮食品店や、雑貨店



アーケード側の入り口

など多様な小規模店舗がおおよそ 110 件ほど密集している横丁である。東側にはサンモール一番街のアーケードに接している。

当地区において、近年 NPO 法人によるまちの駅事業や、地域の活性化に関する専門的なアドバイス調査を行い、地域の活性化に向けた活動を行っている。本稿ではその活動をレポートしている。

### 2.壱式参横丁の経緯

戦前までは武家地から商家のある地域へ変化した地域で戦災後、闇市的な状況になり、その後昭和 21 年 8 月より公設市場と



横丁内部の様子

して発展してきた。最近までシャッターが閉まり閑散としていたが、周辺に比べて家賃が安いことから、若者による雑貨店の出店が起こるなど一種のチャレンジショップとしての機能を持つようになってきている。近年は昭和レトロを売りにして、マスコミに登場するなど、徐々に盛り上がってきている。

### 3.壱式参横丁のまちづくり

壱式参横丁にかかわっている、まちづくり com は平成 17 年 1 月認証設立されたまちづくりの利害関係者のコネクターとしてコーディネートやファシリテートを行う NPO 団体であり、壱式参横丁には平成 18 年度頃より関わっており、まずは空き店舗意を活用できないかということでもちの駅の運営、活性化の話し合いの事務局やファシリテートを行っている。

平成 21 年 2 月までの約 2 年間は、横丁内にまちの駅を設置し、地域の休憩所、イベント、展示スペースとして利用するなどしている。

ワークショップ形式 (以下 WS) での横丁活性化のための話し合いのコーディネーターも行っている。

「いろは横丁活性化実行委員会」と題された話し合いを



平成 20 年度より行っている。そのほか、リヤカー屋台を製作し、ランドマーク的役割や、テストショップ的な役割を持たせる仕掛けづくりを行っている。

### 4.おわりに

ある意味時代に取り残されたがゆえに、現在においては独特な雰囲気を出している地域である。そのことをいかに広報していくかが、地域の活性化のカギとなる。また、老朽化した建物の取り扱い、また横丁内での核となる場所づくりなど今後の課題である。横丁内志願の発掘などを行いながら専門家のアドバイスを受け、活性化のための様々な仕掛けづくりを行っていくことが期待される。

### 地域データ

人口:359 名 世帯数:490 世帯 高齢化率:20.1%  
(青葉区一番町 2、平成 21 年 10 月 1 日)

場所：仙台市青葉区一番町 2

JR 仙台駅から徒歩 10 分

